

第13回ハイブリッド市民公開講演会～MS/NMOSD等～

認定 NPO 法人日本多発性硬化症協会（日本 MS 協会）

本年も昨年同様、会場とオンラインのハイブリッド開催を実施しました。会場は浅草橋のヒューリックカンファレンス。講演会の総合司会は昨年に引き続き（株）三栄コーポレーションの池田さんです。

第1部は当協会水谷理事長の挨拶で開会。令和5年度医学研究助成審査委員長の順天堂大学大学院医学研究科客員教授の田平先生より、審査に関する説明と医学研究助成を受賞した3名の先生方の研究内容概要の紹介がありました。昨年より受賞者研究発表の場が当協会市民公開講演会から日本神経免疫学会に変更されており、本年は富山にて10月3日から5日のいずれかの日にご発表いただきます。この後、英国MSIF（多発性硬化症国際連合）からのメッセージを司会者の池田さんが代読、そして後援のNPO法人MSキャビンの中田郷子理事長からの動画メッセージをいただきました。

第2部は基調講演2題。まず、東北大学名誉教授の糸山先生よりご両名の先生のご紹介がありました。九州大学大学院神経内科学教授の磯部先生は「多発性硬化症の治療：再発と進行を抑えるために」、そして東静岡神経センター院長の横山先生は「視神経脊髄炎に関して知ってほしい事あれこれ」がテーマです。（基調講演後、会場参加者とオンライン視聴者から非常に分かりやすい講演でした、との嬉しいコメントをいただきました。）

第3部はパネルディスカッション。テーマは「MS・NMOSD・MOGADの基礎知識と最近の話題」。福島県立医科大学教授、藤原先生の素晴らしい司会で九州大学大学院の磯部先生、東静岡神経センターの横山先生、東京女子医科大学の清水先生、埼玉医科大学総合医療センターの深浦先生の4名の先生方がパネリストとして様々な角度から存分にお話をしてくれました。視聴者様より事前によくのご質問があり、5名の先生方がご丁寧に您对応くださいました。その後、国立精神・神経医療研究センター神経研究所特任研究部長の山村先生の講評。最後に当協会田平副理事長の閉会の挨拶となり3時間半ほどの市民公開講演会が終了しました。2回目のハイブリッド開催でしたが高評価をいただきました。浅草橋の会場からオンラインでつなぎ、多くの皆様にご視聴されました。演者の先生方、ご挨拶いただきました先生方、当協会役員の皆様方、総合司会の池田さん、後援の全国多発性硬化症視神経脊髄炎友の会、NPO法人MSキャビンの皆様、ボランティアの皆様へ深く感謝申し上げます。この講演会のアーカイブ配信を当協会HPのYoutubeにて5月より一般公開します。当協会HP(<http://www.jmss-s.jp/>)のYoutubeをクリックしてください。来年の第14回市民公開講演会でお会いしましょう！ 日本MS協会 事務局一同より

水谷理事長オープニング挨拶



田平先生の医学研究助成講評



磯部先生基調講演



パネルディスカッションの皆様



横山先生基調講演



後援のMSキャビン理事長

